

第56回神無一族の氾濫

担当 神無七郎

☆今回の「氾濫」のお題は「〇

〇だったら1手詰」。作品こ

とに仮定の部分が大きく異なるので、各作者の個性を感じられると思います。

①協力詰 79手『スガレ狩』

神無三郎

持駒 歩歩歩

18歩、同玉、19歩、同玉、

36桂、18玉、19歩、17玉、

28角、26玉、17角、37玉、

38歩、46玉、28角、57玉、

39角、48と、同角、46玉、

57角、36玉、37歩、同玉、

46角、48玉、57角、38玉、

39歩、28玉、46角、37桂、

同角、17玉、18歩、16玉、

28桂、同と、17歩、同玉、

28角、26玉、17角、37玉、

38歩、48玉、26角、39玉、

17角、28歩、同角、48玉、

39角、47玉、48歩、57玉、

58歩、46玉、28角、37桂、

47歩、36玉、37歩、26玉、

17角、37玉、49桂、48玉、

26角、39玉、17角、28歩、

同角、48玉、37角、47玉、

48歩、56玉、57歩迄79手。

【協力詰(ばか詰)】先後協力

して最短手数で受方玉を詰

める。

☆5×4の小庭でのスガレ(ス

ズメバチ)狩り。使える道

具は角桂歩のみ。入玉型な

ので成ることもできません。

森美憲―突歩詰に持っていく

手順がうまい。

☆唯一の手段は角桂歩による

突歩詰。二歩を避け、5筋で

の突歩詰を目指します。

一乗谷酔象―合駒を打てるの

は28歩と37桂だけで巧く

手を繋いでいく。特に収束、

突き歩の準備が難しかった。

☆突歩詰の実現には周到な準

備が必要です。49と・29と

を順にはがして空間の確保

と駒の補充を行い、58歩・

49桂・48歩を順に設置して

形を整えます。歩合や桂合

ができる場所は限られてい

るので、適切に手順を組み

立てねばなりません。

須川卓二―桂をどちらに跳ね

るかだが、先に手に入る16

桂がおいしい罠だった。

☆5手目16桂は際どい紛れ。

作意に比べわずか2手の超

過です。この紛れと作意を

両方読んだ方は二局分楽し

めたと言えるでしょう。

②最後の1ピース・協力詰1手

上谷直希

持駒 なし

※1〜3筋に受方の生駒を

17枚配置

【最後の1ピース】出題図に

駒を追加して指定されたル

ール・手数の完全作にする。

作者―最後の「1」ピースと

言っておきながら1ピース

どころではない作品も良い

かなと思つてつくりました。
 ☆本作は「上手く配置できた
 ら1手詰」。ルールは本誌初
 出題となる「最後の1ピ
 ス」です。目標は「協力詰
 1手の完全作」。王手を掛け
 られる駒は龍しかありませ
 んが、「合駒できない(協力
 詰には無駄合概念はない)」「
 「逃げられない」「龍を取れ
 ない」「駒が余らない」の4
 条件を満たす配置の仕方は
 唯一つです。

中澤宣幸―合駒できない形を
 つくる。
 千葉肇―銀は九段目、金は八
 段目、桂は六段目と次々に
 限定していくと残りは限ら
 れる。
 山口勇―22は桂なのかと思つ
 てしまった。22角があつた。

③打歩協力詰 11手
 駒井めい

宮田敦史―固定観念に捉われ
 ると解けない。特に銀合は
 盲点。
 ☆25龍を動かすため34香は
 自然ですが、続く銀合が妙
 手。歩を取った後35に戻れ
 る銀を使って、仕切り直し
 の打歩詰を目指します。
 作者―47歩が持駒だったら1
 手詰。突歩詰を打開するた
 めに、取歩駒を発生させて
 アンピンします。打開のロ
 ジックは森田手筋と同様で
 すが、本作は打歩詰にする
 ために取歩駒をピンし直し
 ます。
 山本強志―そうか、森田手筋
 なのか。解答を書く直前に
 気がつきました。
 ☆森田手筋は打歩詰打開の手
 筋ですが、本作はそれを突
 歩詰打開に使っています。

〔正解〕配置と詰手順

23龍迄1手
 中村増一―全て限定とは驚異
 的。楽しさ抜群。

☆作図問題の名作ですね。密
 状態の強制により、配置を
 限定する仕組みに本作との
 共通点を感じます。

☆47歩が持駒なら1手詰。玉
 を1筋に追う平凡な手順は
 手数超過なので、突歩詰の
 解消を考えましょう。
 駒井信久―突歩詰を打歩詰に
 変えるのは洒落た構成。
 中澤宣幸―ピンを一度外して
 かけ直すのが面白い。

☆森田手筋は打歩詰打開の手
 筋ですが、本作はそれを突
 歩詰打開に使っています。

24角、45玉、46歩、55玉、
33角、46玉、24角、47玉、
48歩、同玉、15角、26桂、
同角、47玉、59桂、57玉、

【成禁】手順中に成る手があ
ってはならない
【強欲】駒を取る着手を優先
する

35角、66玉、67歩、77玉、
44角、68玉、35角、59玉、
26角、37桂、同角、68玉、
59角、67玉、79桂、66玉、
48角、55玉、67桂、64玉、
37角、46歩、同角、63玉、
75桂、72玉、73歩、71玉、
72歩、同と、63桂、同と、

☆成禁でなければ42歩成の1
手詰。成禁なので①と同様
に生の角桂歩で詰めねばな
りません。盤面一杯を使っ
た『大スガレ狩』です。
森美憲―序の遠打に対する五
連続歩合が見どころ。

35角、44桂、同角、53と、
同角、82玉、71角、92玉、
93歩、83玉、84歩、同玉、
62角、93玉、71角、84玉、
62角、75玉、53角、66玉、
44角、75玉、87桂、84玉、
66角、75歩、同角、83玉、
95桂、92玉、93歩、91玉、
64角、73歩、同角、81玉、
82歩、91玉、83桂迄191手。

☆22手目から始まる五連続
歩合は本作の創作のきつか
けだそうですが、それ以降
の手順も見所満載。特に61
手目〜79手目の53歩消去
や、135手目79桂からの桂の
三段跳ねは圧巻です。
占魚亭―99角に対する5連
続歩合からはじまる角によ
る追跡劇は楽しさがありつ
つも考え所が多々あり、桂

を渡しあうのも難度の高さ
に貢献していて、79桂から
三段跳ねて渡す展開には痺
れました。
☆今回は久々に解答者が30
名を越えました。初解答の
方も多く嬉しいです。

作者―強欲ルールのいろいろ
な方向性を探った所、52回
氾濫の倉庫番型作品や本作
の様な持駒制限と取らせ駒
による手順限定が使えると
気付きました。
☆本作を支える原理は強欲条
件の不用意な発動の抑止。
主軸の角を失わないよう、
様々な技巧を駆使します。
手順は変化に富み、200手近
い長丁場を飽きさせません。
最後は盤上と駒台を何度も
行き来した桂で締括り。魂
の込もった力作です。

【総評】
神谷護流―氾濫が初めて解け
ました！
【1題】神谷薫、詰山解道、中
村増一、山口勇、和田登
【2題】馬屋原剛、沖永遠馬、
鈴木彊、竹中健一、千葉肇、
山下誠
【3題】伊佐真喜人、岩本修、
神谷護流、川端潤、駒井信久、
止少丘八、中澤宣幸、弘光弘、
藤沢英紀、宮田敦史、山本強
志、和田裕之
【4題】一乗谷酔象、
田中孝海、西村恒雄
【全題正解】須川卓二、占魚亭、
森美憲【4題】一乗谷酔象、
田中孝海、西村恒雄
【解答成績】(太字5名当選)
①6025②2623③20011
④2407⑤4027
【0題またはコメントのみ】
市原誠、竹園政秀